

ODA 要求の主な項目

平成 14 年 8 月

外務省

1. 我が国の国益上重要な地域・分野への ODA の重点的实施 [209 億円]

(1) アジアの安定と成長のための ODA の戦略的活用

- 東アジア開発イニシアティブ (I D E A) の推進
 - (広域開発無償の拡充 : 50 億円)
 - (国際機関を通じた I D E A 関連支援拡充 : 5 億円)
- 政策支援のアジアへの重点的实施 (3 億円)
- 東アジア経済連携強化への ODA の活用 (IT、貿易関連能力開発、知的所有権)

(2) 紛争予防、平和構築に係る地域、分野における ODA の積極的活用

- アフガニスタン復興支援の着実な実施
 - (青年招聘事業の開始 : 0.7 億円)
- ガヴァナンス無償の拡充 (30 億円)
- 対人地雷対策無償の拡充 (54 億円)
- 復興支援のための開発調査の活用 (緊急開発調査の増等) (12 億円)

(3) 留学生受入支援体制の拡充

- 留学生支援無償の拡充 (42 億円)
- 私費留学生等支援の推進 (1 億円)

2. 環境をはじめとする人間の安全保障分野への ODA 活用 [540 億円]

(1) 循環型社会の構築、地球環境問題への ODA を通じた対応

- 地球環境無償の拡充 (100 億円) (新重点4分野 : 環境)

(2) 教育、感染症、麻薬、テロ、ジェンダー等の分野への対応

- 基礎教育支援への積極的取り組み
 - (子どもの福祉無償の拡充 : 60 億円) (: 教育)
- 麻薬対策無償の新設 (30 億円)
- ジェンダー関連支援の拡充 (30 億円)
- 感染症対策無償の拡充 (120 億円)

(3) アフリカをはじめとする国際社会の人的分野への貢献

- 水資源無償の新設 (200 億円)

3 . 国民参加のODA実施：人材、地域社会、NGO [175 億円]

(1) 人材の発掘、育成、活用：ODAによる人間力の向上

- 帰国協力隊員の人的資源の活用及び支援 (19 億円) (: 教育)
- シニア海外ボランティア事業の充実化 (68 億円) (: 高齢化)
- 開発教育支援の充実 (2 億円) (: 教育)
- 国際開発高等教育機構を通じた人材養成 (8 億円)
- 国際協力人材開発センターの立ち上げ (2 億円) (: 教育)
- 国際緊急援助隊 (地方自治体登録者・ボランティア登録者) 海外訓練・研修実施
(0 . 2 億円)

(2) 地域社会の活力の活用

- 地域発信型国際協力の推進
 - (地域発信型国際協力モデル事業：草の根技術協力にて対応)
 - (地域発信型国際協力推進のための連絡会議：0 . 06 億円)
 - (地方との対話、情報提供の推進：11 億円)
- 市民による国際協力活動の推進 (22 億円) (: 地域)

(3) NGO支援の抜本的強化

- 日本NGO支援無償の倍増 (40 億円)
- 草の根技術協力の拡充 (14 億円)
- 地方NGOの組織・能力強化支援等 (2 億円)
- 日本NGO支援無償に係る業務委託 (0 . 7 億円)
- NGO人材育成総合プログラムの拡充 (0 . 7 億円) (: 教育)

4 . ODA改革の推進：戦略性と透明性・効率性向上 [77 億円]

(1) 戦略性

- 特定援助政策策定調査費 (0 . 4 億円)
- 国別・分野別援助計画策定 (0 . 4 億円)
- ODA総合戦略会議の開催 (0 . 2 億円)
- プロジェクト形成発掘関連 (32 億円)

(2) 透明性・効率性向上

- 評価の充実 (33 億円)
- 情報公開・広報の推進 (11 億円)
- 監査の拡充 (0 . 5 億円)

(注) 上記 1 . ~ 4 . の計数は、別紙 2 の「予算概算要求の考え方」の計数積算上の案件以外のもも含んでいるため別紙 2 に記載されている計数とは一致しない。